

新宮山彦ぐるーぷ第2312回

平治宿トイレ棟修理に伴う事前下見

◇実施日 8月16日(金) 晴

◇参加者 沖崎吉信、畑林秀味、松本吉殖、湯川一郎 4名

松本君は各小屋、お堂などの傷み具合が気になるようで、訪問の都度チェックしてくれている。

平治宿トイレ棟の屋根トタンは腐食が進んでおり、取替の必要が感じられたので、盆前に平治宿に向いた際必要箇所を採寸し、書面でお渡ししたが、トタン下の木材(胴縁など)やその他細部についてご自分の目で確かめたいとの要望があり、この日4人で向かうことになった。



平治宿に着く



洗濯済毛布を収納



屋根で採寸

池原のスポーツ公園に寄ることなく、直接池郷林道へ入る。ゲートからは一回だけ落石を除けたが、2時間弱で持経宿に着く。

小屋、お堂の戸と窓を開けて風通しを行う。その後すぐに平治宿に向かった。先日持ちおろした平治宿の毛布の洗濯済5枚を戻すため、手分けして背負う。

湯川君が「向こうの山を見てください。長い間雨が降っていないので、少し枯れて茶色く見える」という。もう紅葉が始まっているのかと思っていたが、そう言われると本当に長い間雨が降っていないのと高温が続いているので、枯れてくる木があっても不思議ではない。早急に一雨でも二雨でも欲しいところだ。

持経宿から平治宿までは標準で一時間、若い人だと50分程度で到着するが、年のせいかな最近では時間がかかるようになり、今日も1時間20分ほどかかってしまった。



壁面の採寸



胴縁の腐食状況



縦走者に出会う

平治宿に着いて松本君はトイレ棟の屋根に上ったり、内側から木材の状態を調べたり、30分ほど検分していた。今日は昼食を持ってきていない

ので、即持経宿へ引き返した。

松本君からは、屋根トタンと下部の木材(胴縁)は取り換える。壁のトタンは塗装で何とかなる。帰つてすぐに材料の加工を行い、9月中には取り換えの工事を行いたい。とのお話が合った。

帰路、今日行仙宿に泊まる予定という単独縦走者に出会い、水場の情報とパンを呈呈して大変喜んでいただいた。

持経宿で昼食をとつた後下山。池原の国道まで35分位と新記録の早さだった。

下界は厳しい暑さだが、持経宿と平治宿の間の尾根は、さわやかな風があつて気持ちのいい尾根歩きだった。

(記:沖崎)

行動タイム

新宮 07:00 ↓ 持経宿 09:06 ↓ 10:19 平治宿 11:08 ↓ 12:13 持経宿
12:58 ↓ 14:55 新宮